

# 第4次 新潟市環境基本計画

## 概要版



計画全文は新潟市ホームページに掲載しています。→



## 計画の概要

### 新潟市環境基本計画とは

新潟市環境基本条例第9条の規定に基づき策定するもので、本市の環境の保全に関する施策の基本的な方針や目標を定めています。

### 計画期間

令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間

## 計画のポイント

### 「田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市」の実現へ

新潟市総合計画2030に掲げる都市像の実現に向け、環境分野の施策を展開していきます。

### 関連するSDGsの17のゴールを明示

市民や事業者の皆様と取り組みの目標や方向性について共通認識を持ちながら施策を実施していきます。



### 各施策に成果指標と目標を設定

計画の年次報告において、進捗状況を総合的に確認し、達成に向けた取り組みを着実に実施します。

# 各施策の内容

目指す都市像の実現に向けて取り組む4つの施策を定めるとともに、全ての施策の基本となる「環境教育と協働の推進」を、共通施策に設定しています。また、4つの施策については、新潟市総合計画2030における施策と関連、整合させています。

## 目指す都市像

## 田園の恵みを感じながら心豊かに暮らせる 日本海拠点都市

### 環境分野の施策を推進

施策1

脱炭素社会の創造

- ゼロカーボンシティの実現に向け、市民、地域の団体・事業者とのパートナーシップのもと、地域の脱炭素化に取り組めます。
- 気候変動の影響を回避・軽減するための取組みを進めます。

関連するSDGsのゴール

施策2

循環型社会の推進

- さらなるごみの減量・資源化を推進するため、市民・事業者への意識啓発や協働の取組みを進めます。
- 安定的・効率的なごみ処理体制の整備に取り組めます。
- 多様な主体と連携・協働し、環境美化活動を推進します。

関連するSDGsのゴール

施策3

自然との共生

- 地域や事業者と連携・協働し、里山の保全や在来動植物の保全・再生に取り組む、生物多様性の保全と自然環境の賢明な利用につなげます。

関連するSDGsのゴール

施策4

良好な生活環境の確保

- 大気、水、音などの環境が良好に保たれるよう、監視・調査等を行い、必要な対策につなげます。
- 環境に配慮した事業活動や市民生活が行われるよう、周知・啓発や助言等の取組みを継続します。

関連するSDGsのゴール

施策の方向・取組み内容

1 省エネルギー・再生可能エネルギーの推進

- 住宅・交通に伴うエネルギー消費量削減
- 事業者の脱炭素経営の促進
- 地域脱炭素の推進
- ライフスタイル転換の推進
- 市役所の事務事業に係る脱炭素の推進

2 気候変動適応策の推進

- 気候変動のリスクを回避、軽減する取組みの推進

成果指標

市域から排出される温室効果ガスの削減量 (平成25年度比)	
現状値 (平成30年度)	現状値 (平成30年度)
△18.8%	国の削減目標 (△46%) 以上

施策の方向・取組み内容

1 3Rの推進によるごみの減量

- 資源循環と意識啓発のさらなる推進
- 事業者による環境配慮活動
- 食品ロスの削減
- プラスチックの資源循環

2 地域の環境美化の推進

- きれいなまちづくりの推進

3 持続可能なごみ処理体制の整備

- 安定的かつ効率的なごみ処理体制の整備

成果指標

1人1日あたりごみ総排出量	
現状値 (令和3年度)	目標 (令和12年度)
978g/人・日	948g/人・日

施策の方向・取組み内容

1 生物多様性の保全

- 湿地の保全及び賢明な利用の促進
- 在来の動植物の生息・生育環境の保全・再生
- 環境への負荷が少ない農業の推進

2 自然環境の持続可能な利用

- 湿地の保全及び賢明な利用の促進 (再掲)
- 市民が親いとおと安らぎを得られる緑の創出
- 自然環境の保全に配慮した事業活動の推進

成果指標

OECD等*の市内の陸域 (内陸水圏含む) における面積割合	
現状値 (令和3年度)	目標 (令和12年度)
978g/人・日	948g/人・日

\*国定公園などの保護地域及び保護地域以外で生物多様性保全に資する地域

施策の方向・取組み内容

1 環境負荷の低減・抑制

- 大気環境の保全
- 水環境の保全
- 騒音・振動対策
- 土壌・地盤環境の保全
- 化学物質対策
- 生活排水対策
- 環境への負荷が少ない農業の推進 (再掲)

2 環境保全のための事前配慮の推進

- 開発等に伴う事前配慮の推進

成果指標

新潟市の生活環境における大気・水・音などの状況が良好だと認める市民の割合	
現状値 (令和4年度)	目標 (令和12年度)
76.8%	80.0%

## 共通施策 環境教育と協働の推進

### 施策の方向・取組み内容

#### 1 さらなる環境教育の推進

- 幅広い世代への環境教育の機会創出 ●学校教育の推進・生涯学習の推進

#### 2 多様な主体とのさらなる連携・協働の推進

- 市民、市民団体、学校、事業者などとの協働の環境づくり ●国、県、他自治体との広域連携の推進



にいがた市環境教育フェア

がたちこプロジェクト・SDGs授業

- あらゆる世代の全ての市民が環境に対する意識を高め、環境行動を実践できるよう、環境教育の機会の充実と多様な主体との連携・協働を推進します。

# 市民・事業者の皆様に取り組んでいただきたいこと

新潟市地球温暖化防止  
イメージキャラクター  
とめドキくん



施策を進めるにあたっては、市民、事業者及び市が、それぞれの役割や取組みの方向性を十分に認識した上で、一体となって取組みを実践していく必要があります。

本計画では、そのためのガイドラインとして、市民・事業者の皆さまからぜひ取り組んでいただきたいことをお示しています。



新潟市ごみ減量推進  
イメージキャラクター  
サイチョ

## 市民の皆様に取り組んでいただきたいこと

### ご自宅では

- 使わない照明・電源をこまめに切る。冷暖房を適切に利用する。
- 宅配便が再配達とならないよう、日時指定やコンビニ・営業所などでの受け取りサービスを活用する。
- 紙類やプラスチックなど、リサイクルできるものは資源物として出す。
- 生ごみの水切りなど、ライフスタイルに合った資源化を実践する。
- 他地域原産の動植物を野外に放さない。 …など



### 住宅を新築・リフォームするときは

- ZEH※など、快適でエネルギー効率の高い住宅にするよう努める。
- 省エネ性能の高い設備や家電製品を取り入れる。 …など



※Net Zero Energy Houseの略称。外皮の高断熱化及び効率的な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量がゼロまたはマイナスの住宅。

### お出かけ・通勤のときは

- 徒歩や自転車、公共交通機関で移動する。
- 運転はエコドライブで。
- 自家用車を購入するときは次世代自動車を選択する。 …など



### 身の回りの環境に興味を持ったら

- 市や市民団体、企業などが行う各種講座に積極的に参加する。
- 環境について調べ学んだことを、積極的に暮らしの中に取り入れる。 …など



## 事業者様に取り組んでいただきたいこと

- 再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組む。
- 次世代自動車の導入や物流システム効率化など、人・物の移動手段の脱炭素化に取り組む。
- 省資源化を意識した製品設計やサービスの提供に取り組む。
- 事業系ごみの分別ルールを徹底するとともに、資源の循環利用に努める。
- 事業活動に伴う周辺環境への影響について予め十分検討し、最小限の影響となるよう配慮する。
- 地域や市民団体と連携した環境保全活動を通じ、地域貢献に積極的に取り組む。 …など
- 事業活動に伴う周辺環境への影響について予め十分検討し、最小限の影響となるよう配慮する。

### 第4次新潟市環境基本計画 概要版

編集・発行 新潟市環境部環境政策課  
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1  
TEL 025-226-1363

